



2022年11月10日

各位

会社名 アイコム株式会社
代表者氏名 代表取締役社長 中岡洋詞
(コード:6820 東証プライム)
問合せ先 経営管理部長 植畑敬一
(TEL 06-6793-5301)

2023年3月期通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表しました2023年3月期通期の連結業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2022年5月12日発表)	百万円 29,000	百万円 1,120	百万円 1,230	百万円 870	円 銭 60.62
今回修正予想 (B)	31,700	1,320	2,090	1,560	108.69
増減額 (B-A)	2,700	200	860	690	
増減率 (%)	9.3	17.9	69.9	79.3	
(ご参考) 前期実績 2022年3月期通期	28,277	1,058	1,574	1,093	76.22

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間において、前期より続く電子部品等原材料の入手難に相当程度対応できたことで、米国を始め海外市場での需要回復・拡大に応じることが可能となり、為替レートが円安方向に推移したことも寄与し、中間期としては過去最高の売上高となりました。

第3四半期以降は、海外中央銀行の利上げ政策や、ウクライナ問題に起因して景気後退が想定されるものの、地政学的緊張感の増大、危機管理意識の高まりから無線機事業の需要は底堅いものと見ております。しかしながら、原材料の入手難は改善しつつも依然継続しておりますので、予想売上高、営業利益にその影響を見込んでおります。また、想定為替レートは、当第2四半期(累計)の実績(米ドル:129.81円、ユーロ:136.80円)と同水準としました。

上記の前提から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が、いずれも2022年5月12日に公表した予想を上回る見込みです。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上